

保健福祉企画総務課長 様

担当課長 消防局総務課長

中 村 具 見

設計支援委員会結果報告書

平成18年2月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>岡山市西消防署(仮称)新築工事 (市民向けスペースにおいて、アプローチにおける誘導やエレベーター、多目的便所等を設置する。)</p>	
<p>設計支援委員からの意見</p>	<p>具体化の結果・状況</p>	
<p><視覚障害者を誘導する装置について> (案内サイン) ・案内サインにおける平面図等の表示高さを施設見学に訪れる児童や車椅子使用者の方に配慮して低くした方がよいのでは。 (注意喚起用・誘導用床材) ・敷地内の建物アプローチの誘導において、車輦通行上の安全性についてどう考えているのか?また、歩行者アプローチ通路として色分けするなど明確になるようにした方がよい。</p>	<p>・案内サインは、視覚障害者の方に対応する触知板と併用し、床とサイン平面図等の中心までの高さを約1.2mに設定しておりましたが、約1.0m程度に低く設定します。児童や車椅子使用者の方でも近くで見たり、触ったりすることができるものとしします。 ・建物アプローチについては、車輦との動線上の交錯は免れないため、見通しのよい敷地東中央部をメインアプローチ路として設定し、誘導ブロックを設置しています。歩行者、車輦運転者の互いの視認性を確保することで事故防止に配慮します。また、メインアプローチ路は、廻りのアスファルト舗装とは違う舗装仕上げ材とし、歩行者通路を視覚的に明確にするように考えています。</p>	

・各階のフロア案内板への視覚障害者の方の誘導において、エレベータ出入り口(乗降ボタン)前の注意喚起床材とフロア案内板前の注意喚起床材間を誘導用床材で繋ぐこと。

< 階段について >

・中央部アトリウム階段において、施設見学に訪れる児童に配慮して、高さの低い手摺を設けること。

< 受付カウンター及び記載台について >

・2階事務室の車椅子対応のカウンターにおいて、天板高さ75cmは、車椅子使用者の記載台としては高く、天板高さ65cmにしてほしい。

< その他 >

・1階受付・通信室の窓は外廻りが見渡せるように、出窓のような突き出した形状にできないか？また、子供の出入りを考慮して、窓の下枠の高さを極力低くできないか？

・各フロア案内板の設置位置は、エレベータ出口の真正面の分かりやすい位置に配置し、エレベータ出入り口(乗降ボタン)前の注意喚起床材とフロア案内板前の注意喚起床材間を誘導用床材で繋がります。

・ご意見のとおり、児童の身長や高齢者の方の昇降に配慮して、階段手摺を二段手摺にします。

・当該カウンターは、中央部が対立位のインフォメーションカウンターで両サイドが申請協議等、打ち合わせ機と併用した車椅子対応カウンターを考えています。したがって、打ち合わせ機(天板高さ75cm)としての機能を確保しつつ、中央部インフォメーションカウンター前面に車椅子使用者のひざ入れを考慮した天板高さ70cm、奥行き45cm程度の記載台の設置を検討します。

・計画当初、受付・通信室の窓は、視認性を確保するために突き出した形状を予定していましたが、現計画レイアウトにおいては、敷地上の様々な制約があり、実現できないものとなりました。また、窓の腰高については、室内のカウンター天板高さとの加減で極力低く設定するよう検討し、出入り口袖側の履きだし窓の範囲を拡張して、子供の出入りの視認性に配慮します。